

2021年6月3日（木）

## 乳がん啓発・ピンクリボン活動の18年

## 第58回ギャラクシー賞報道活動部門選奨を受賞

HTBが2003年から継続して取り組んでいる乳がん啓発・ピンクリボン活動が、6月2日に東京で開催された第58回（2020年度）ギャラクシー賞\*贈賞式において、報道活動部門選奨を受賞しました。今回、選奨を受賞した「ピンクリボン活動の18年（おっぱい2つとってみた その前と後）」は、HTBが応援活動を続けている乳がん早期検診の啓発活動「ピンクリボン活動」について、18年間に及ぶ活動をとりまとめたものです。

既に同賞テレビ部門奨励賞を受賞したHTB制作のドキュメンタリー、HTBノンフィクション「おっぱい2つとってみた～46歳両側乳がん～」(2020年4月4日(日)放送)を制作するなど一連の活動の中心を担ってきた阿久津友紀ディレクターは「がんであることを隠して生きる人が多い中、出会いが繋がった女性たち、さらに志を同じくする人たちと共にこれからも歩みを続けていきたいと思います」と話しています。HTBはこれからも乳がん啓発・ピンクリボン活動を続けてまいります。

\*ギャラクシー賞はNPO法人放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために1963年に創設した日本を代表する番組コンクール。テレビ、ラジオ、CM、報道活動の4部門からなり、放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する志賀信夫賞、視聴者の参加により選ばれるマイベストTV賞が設けられている。報道活動部門は、放送における報道活動のあり方を議論し、優れた活動に光をあてるとともに、地域の放送ジャーナリズムの活性化を支援していこうと2003年に設立された。審査は各部門共に年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行い、選出された作品を対象に年間の最終選考が行われ各賞が決定する。「ピンクリボン活動の18年（おっぱい2つとってみな、その前と後）」は下期選考から報道活動部門入選の6作品に選出され、今回選奨を受賞した。

※プレスリリースに関するお問い合わせ  
HTB 編成部 山崎  
TEL : 011-205-7666  
メール:yuyamazaki@htb.co.jp

(発行元) 社長室

